

■ ■ ■
□臨時増刊『尾瀬沼』の口繪『尾瀬スケッチ』及び『白樺』は、印刷所に於て、期日遅延の爲め再校を経ず、縦に版面を改め、且夜分印刷して直ちに製本部へ廻せし由にて、思切つて醜惡のものと相成候。石版印刷については毎回苦心少なからず、原稿は早くより廻し置くに掲げらず、いつも間に相成らざれば校正を出さず、活版印刷成るの頃漸く刷上候次第にて、今回とても前より充分注意なせしに其甲斐なく、かゝる失態を生ぜしは誠に申譯無之候。

□依而右謝罪として石版所より尾瀬風景を別に印刷して提出可致、今度は良好のものを出すべしと盟ひ候に付、來號の『みづゑ』に添付可致候間、其にて御見許被下度候。

□次號には、久々にて丸山晚霞氏の講話及繪畫の原色版出づく候、猶山嶽紀行を以て有名なる、小島烏水氏のラスキンについての講話、並びに石川欽一郎氏のマクワータの水彩畫談、及び大下氏の靜物寫生の續稿並に岩代燧岳の原色版等掲出可致候。
□次號は多分この月二十五日頃印刷を終り

候筈につき、前金切の諸君は、其前に御拂込有之度、猶宿所届先變更の場合は、二十日前に御通知被下度候。

□新年に入りては、郵便物多量のため、自然到着延引可致候間、新規御注文等も二十日頃迄に御申込相成度候。

近 事

△太平洋畫會秋季寫生會は十一月十六日より三日間武州五日市地方に於て催されたり
△日本水彩畫會研究所秋季寫生會は十一月二十二日より三日間相模小倉附近及武州高尾山並びに八王子附近にて催されたり

△茨城縣石岡町好美會にては十一月六日洋畫展覽會を同町小學校に於て開きたり出品者は高松康、松浦友次郎、小林泰二郎、小神野三男四、高橋松次、三宅克己諸氏にして頗る盛會なりしとなり

△青森縣師範學校にては十一月二十二、三兩日圖畫展覽會あり東京よりも出品もありしと

△和歌山縣師範學校にては十一月三日五月會第三回展覽會を開きしが出品數百餘點前

回に比して進歩著しかりしといふ

△大阪松原社中開催の第二回洋畫展覽會は十月二十四日より十一月七日迄十五日間同市博物場にて公衆の縦覽に供したり出品は家塾の分百四十一點東京及京都の大家よりの分七十六點總計二百十七點の多數に上り入場者實に四萬六千八百六十九人一日平均三千五百三十四人にして賣約高も七百圓以上及び實に關西未曾有の盛會なりしといふ

編者より

◎但馬、成田氏へ 本會に現品なし、方寸は本郷區千駄木林町方寸社發行、大家庭は不明

問に答ふ

■一 繪に潤澤なきは繪具の新古に關係なきや
■二 自然を忠實に寫せとの説明によりヴァイオリンの糸を一直線にせしに、續いたり絶えたりした方がよいと言はれたり、如何にせばよきや
■三 『みづゑ』紙上『編者